

1月26日（土）

佐鳴湖 水質調査「冬」



を実施しました

佐鳴湖では、地域の皆さんと行政が一体となり、流域全体で水環境向上対策を進めております。その結果、水質の目標指標の一つであるCOD値については、近年、着実に改善傾向を示しており、当面の目標値（8mg/L）をクリアするレベルに達してきました。

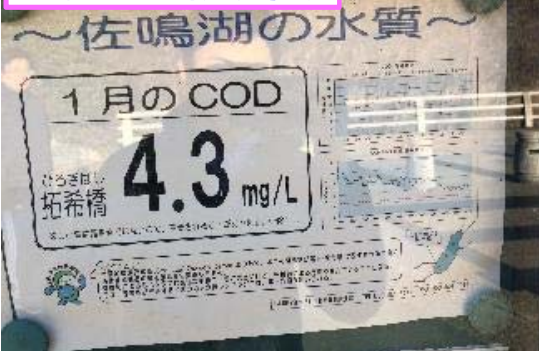
本調査は、COD値や透明度といった水質項目と併せて、湖に生息する生物や水のおいしさ、ごみの量などを地域の皆さんと一緒に測定します。これにより、多くの方々とともに多様な視点から佐鳴湖を調べ、佐鳴湖の実態を“体感”しながら、正しく知っていただくとするものです。

調査当日は、学生から大人まで、11名の方々に御参加いただきました。地域の皆さんと、“五感”で佐鳴湖を感じながら、佐鳴湖の水質（COD、DO、透視度等）や水のおいしさの調査しました。

1月のCODが4.3mg/L（速報値）ということもあり、佐鳴湖の水質はとても澄んでおり、透明度は約70cm、透視度は約35cmと浅いところでは底が見えとてもきれいな状態でした。

佐鳴湖は汽水湖であるため、塩分濃度が9.6‰と高い値を示しており、ろ過した水を口にするとしょっぱさを感じるほどでした。

今月のCOD（速報値）



DO調査



クロロフィル調査



佐鳴湖の景色



お問合せ先：佐鳴湖地域協議会事務局
（浜松土木事務所企画検査課 電話 053-458-7266）
（浜松市環境保全課 電話 053-453-6144）

